

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	816 人権教育推進拠点づくり事業	会計	01	一般会計
		款	10	教育費
		項	05	社会教育費
基本施策	38 互いを認め合い、すべての人の人権を尊重する	目	08	教育集会所費
		細目	449	教育集会所事業経費
行革大綱の重点事項番号		7	細々目	53 人権教育推進拠点づくり事業
担当部課	コード	450900	担当者氏名	西堀 昌子
	名称	教育委員会八幡町教育集会所		
		連絡先	23 - 3157 (内線)	

**事務事業の概要 (Plan)**

対象(誰を、何を)	地区内の中学生(夏季時は小学生を含む)	※対象件数
成果(どうする)	地区の実態や歴史、生き方を学ぶことにより、自分たちの地域や人に誇りを持ち、仲間とともに人権感覚を豊かにして、参加するようになる。	
根拠法令・要綱等	伊賀市教育集会所条例	
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業内容	中学生の地区学習会を実施し、差別に負けない人権感覚を培うとともに、就学・進路の支援を行った。	
社会情勢の変化等		

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)		運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)	
1 建設用地		1 運営主体	
2 建設面積(延床面積)		委託先	
3 規模・構造		2 配置人員	人
4 総事業費	千円	3 年間運営費	千円
		4 市内の類似施設	

**事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)**

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
	中学校学習会(崇広中)の開催	回	目標 30 実績 31	目標 30 実績 56	56	56
	中学校自習室(崇広中)の開催	回	目標 45 実績 53	目標 30 実績 0	0	0

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
	中学校学習会の参加率(崇広中)	出席者数/地域の生徒数	%	目標 40 実績 25	目標 40 実績 48	48	48
	中学校学習会の参加率(緑ヶ丘中)	出席者数/地域の生徒数	%	目標 40 実績 56	目標 40 実績 63	63	63

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計(A)	357	379		249		249		
Aの財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他	0	0	0	0	0	0	
一般財源	357	379	249	249				
事業投入人件費(B)	0.5人 3,600	0.5人 3,600	0.5人 3,600	0.5人 3,600				
フルコスト(A)+(B)	3,957	3,979	3,849	3,849				

**事務事業の評価 (Check)**

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人(の)力だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	○
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	○
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	○
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	○
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	○
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	○
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	○
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
同和問題の解決向け、差別と闘う人材育成が希薄になる。		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高サービス水準や対象を見直す余地がある。	○
目標値を達成している。		
達成度	当初設定した計画を <input type="text" value="100%"/> 実施している。 【計画に遅れが生じている場合、改善策】	
予算の繰越の有無 <input type="text" value="無"/> 【予算の繰越がある場合、繰越の種別】 <input type="text"/>		
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】	
受益者負担を求めることができる事業である。		
全体コストにおける負担構成は適正である。		○
コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。		

**昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況**

改善策	学習会の狙いは、児童生徒が差別に負けない強い精神力の養成と基礎学習の向上を図ることが目的であり、関係小・中学校と協力を図り、より多くの参加者が得られるように努めたい。
昨年度の取組状況	【状況】 <input type="text" value="計画のとおり進んでいる"/> 【詳細】 週1回ずつ開催していた崇広中自習室と学習室を八幡町地区学習会に統合して行い、出席率の増加に努めた。

**今後の方向性 (Action)**

担当課長氏名	富岡 通郎
事業の方向性	【方向性】 <input type="text" value="現状維持"/> 【理由】 毎週木曜日に実施しているが、生徒の希望にそった開催日時に対応できるよう努める。
現時点における課題、その他	学年間の交流ができていない。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	今年度に学年を超えた交流会を開催する。